

2025年2月期 第1四半期 決算補足資料

テクミラホールディングス株式会社

2024年7月12日



I . 2025年2月期第1四半期 決算概要

- ◆ 新作ゲームソフトの販売好調、IoT&デバイス事業の復調等により大幅な増収
- ◆ 利益も営業利益、経常利益ともに前年同期比1億円弱の増益
- ◆ 調整後EBITDA（為替差益を含む償却前利益）は前年同期比3億円の増益

単位：百万円	2023.1Q	2024.1Q	前期比	
			百万円	%
売上高	1,816	2,792	+976	+54%
総利益 (%)	585 (32%)	946 (34%)	+361 (+2p)	+62%
販管費 (%)	725 (40%)	988 (35%)	+263 (▲5p)	+36%
営業利益 (%)	▲140 (-)	▲42 (-)	+98 (-)	-
(為替差益)	(45)	(44)	(▲1)	▲2%
経常利益 (%)	▲94 (-)	▲0 (-)	+94 (-)	-
親会社株主に帰属する 当期純利益 (%)	▲71 (-)	▲30 (-)	+41 (-)	-
調整後EBITDA※1	▲44	256	+300	
ROE※2	▲1.3%	▲0.5%	+0.8ポイント	

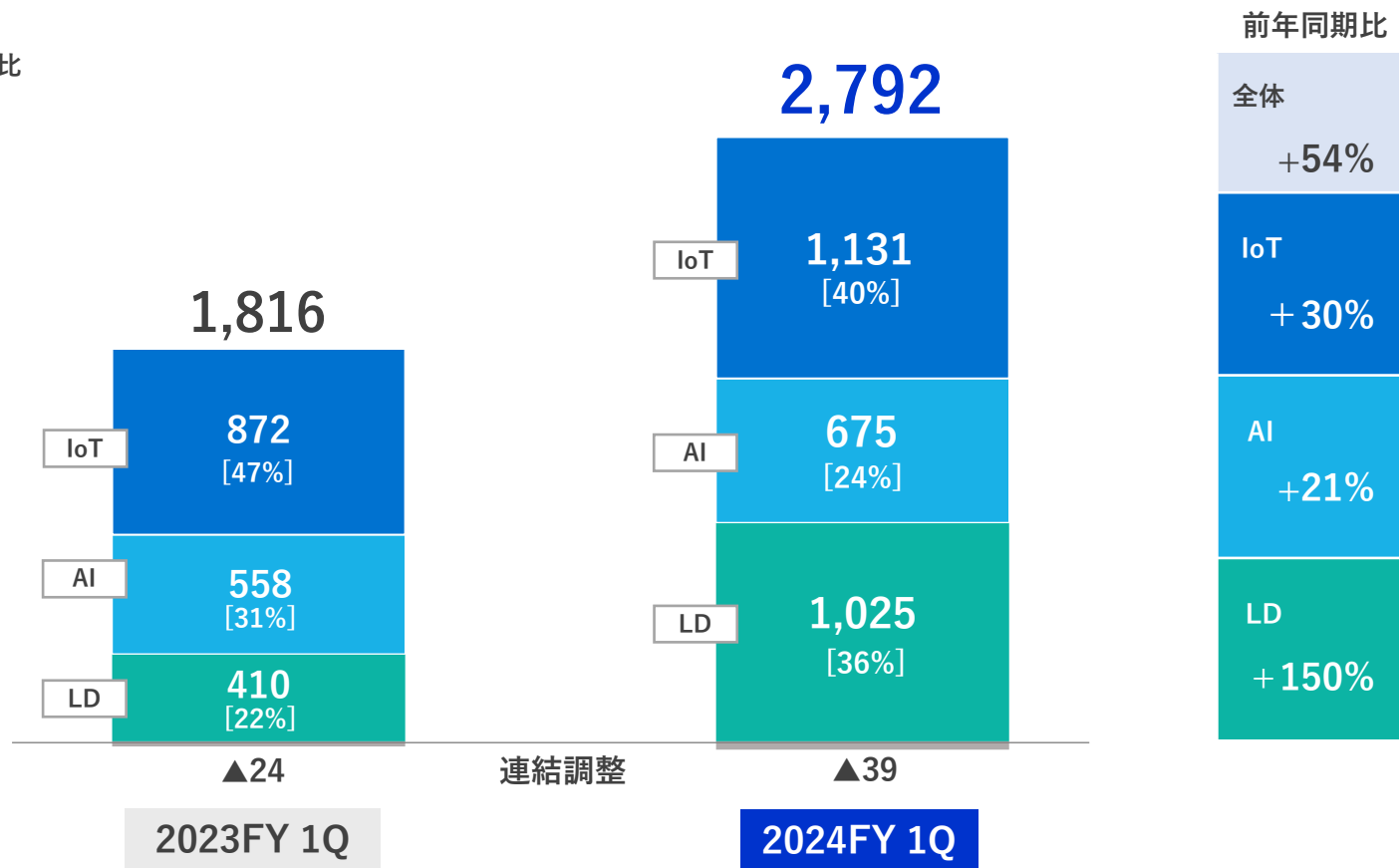
※1 営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費を含む）及び為替差損益の合計額

※2 ROEは、該当する会計期間の親会社に帰属する当期純利益の額を、当該会計期間の期首および期末の株主資本平均残高で除して計算

- IoT** 自社事業aiwaが前年同期比約2.6倍に拡大、セグメント全体として30%の増収
- AI** AIチャットボットなどのSaaS事業が順調に拡大、ソリューションも堅調に推移
- LD** 新作ゲームソフトの販売好調に加え、(株)Wellmiraの連結開始等により大幅な増収

単位：百万円 []内は構成比

- IoT&デバイス事業(IoT)
- AI&クラウド事業(AI)
- ライフデザイン事業(LD)



※セグメント区分の一部変更に伴い、本資料における2023年度のセグメント売上高・利益については新区分の数値に換算し算出しております

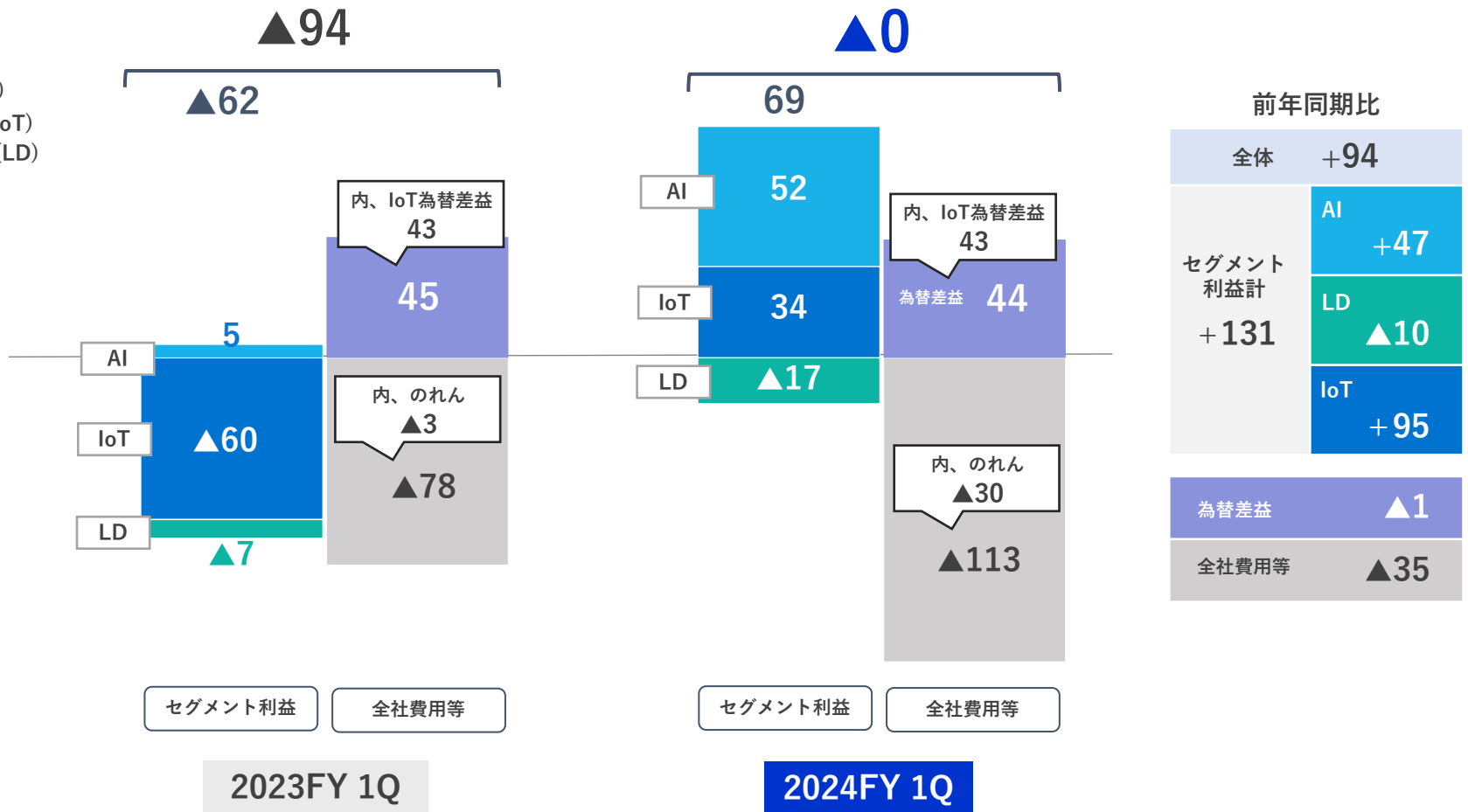
AI SaaS事業の採算改善に加え、DX分野を中心としたソリューションの堅調により大幅な増益

IoT 増収効果により為替の影響を吸収、為替差益を除いたセグメント利益でも黒字化

LD (株)Wellmiraや特定業種向けDX事業などの先行投資がゲームでの利益を上回り損失計上

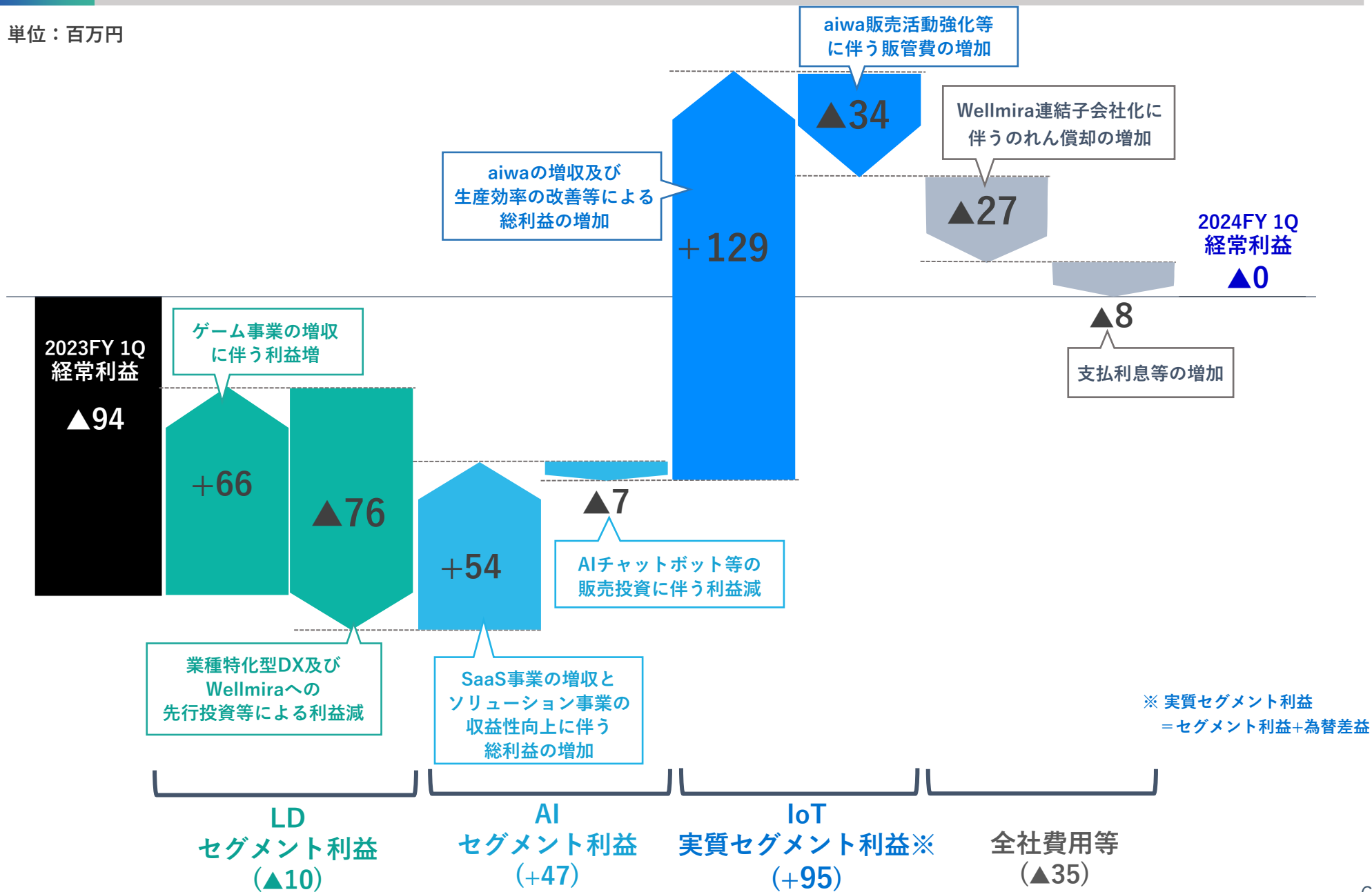
全社費用等 為替差益は前年とほぼ同額が発生、(株)Wellmiraの連結に伴うのれん発生分が増加

単位：百万円



経常利益増減要因 (対前年同期比)

単位：百万円



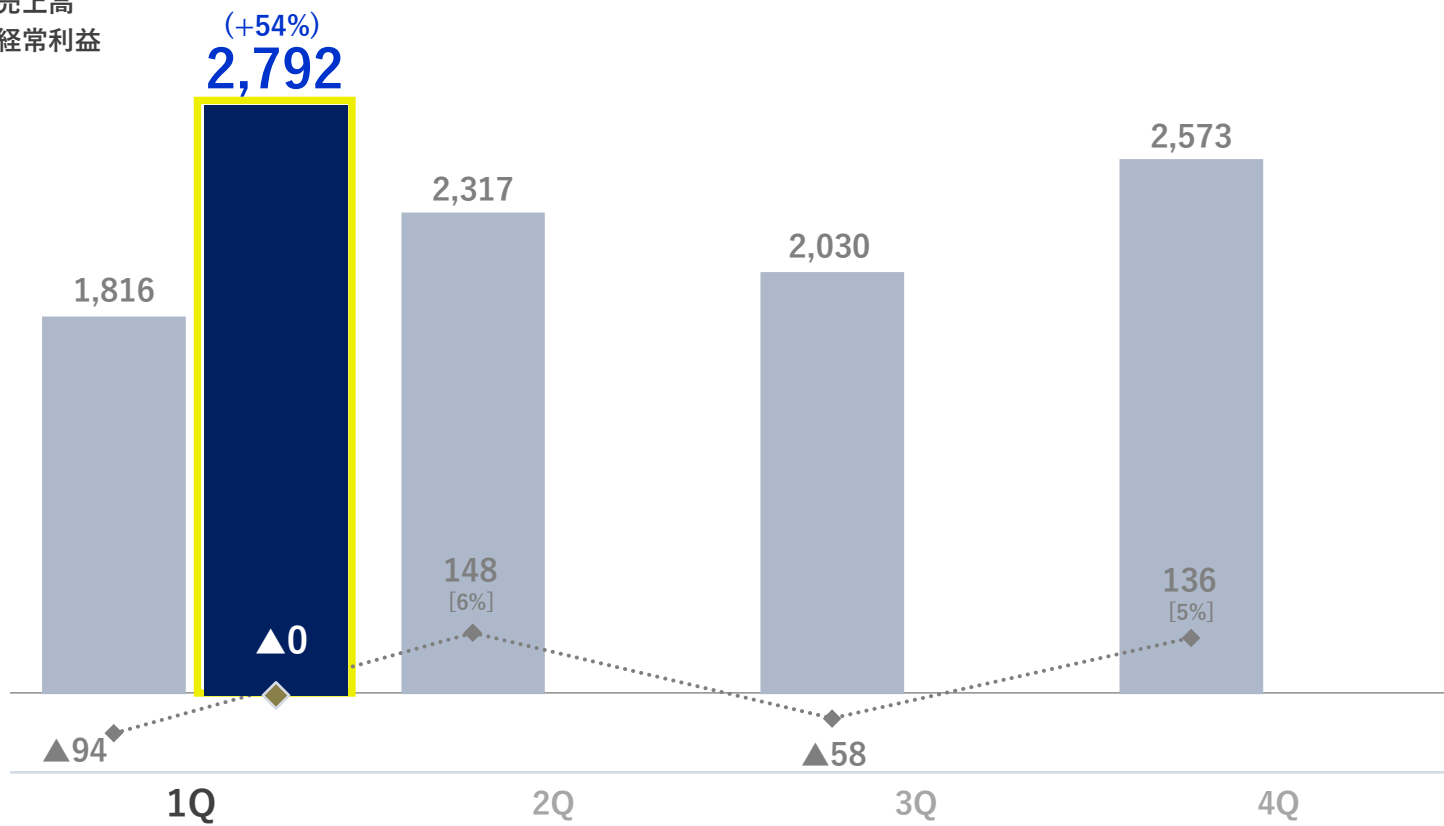
2024年度 1Q業績サマリー

各セグメントの好調により連結売上高は大幅な増収を達成
経常利益についても大きく改善

2023FY 売上高
経常利益

2024FY 売上高
経常利益

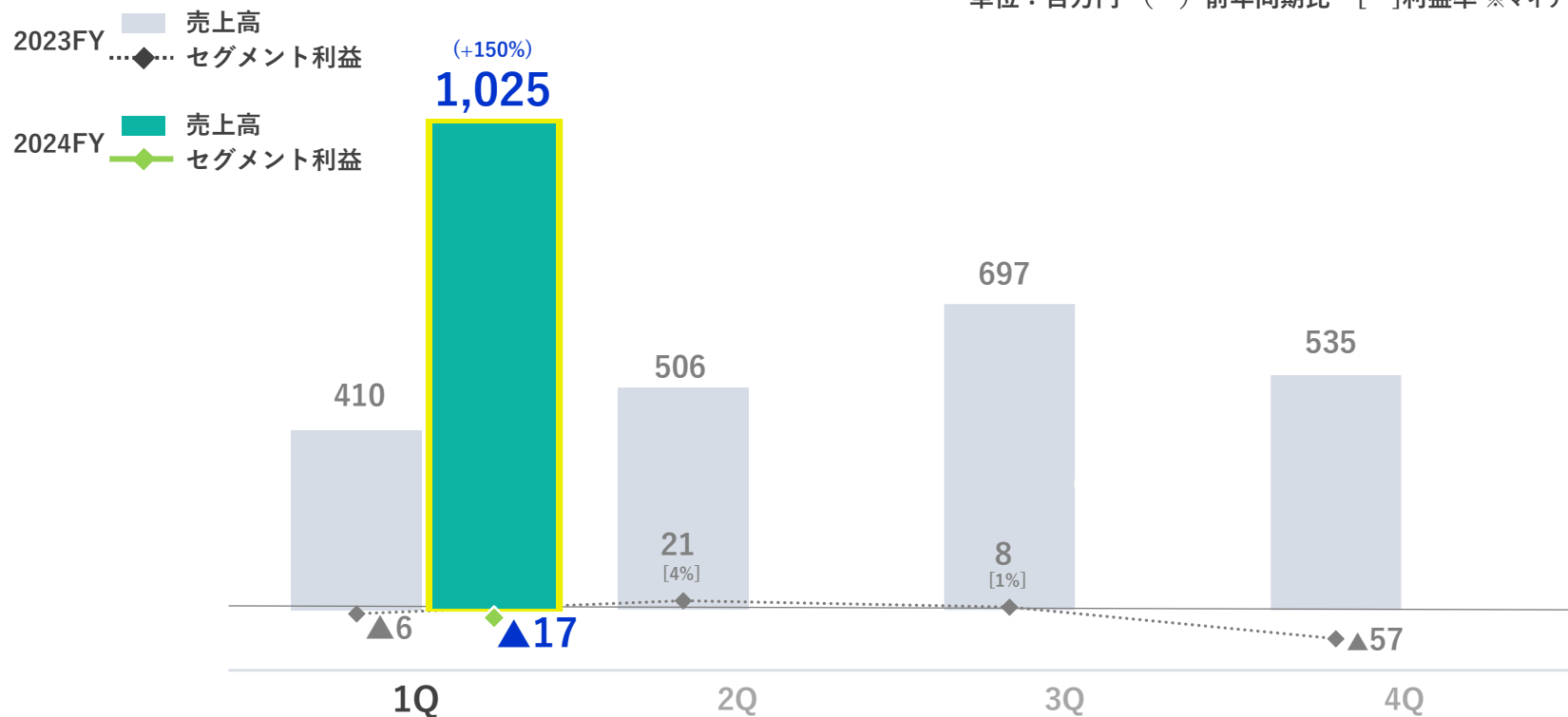
単位：百万円 () 前年同期比 [] 利益率 ※マイナスの場合は省略



2024年度 1Q業績サマリー

- ◆ 2月末の国内発売に続き、5月にアジア地域での展開を開始した新作ゲームソフトの販売が好調に推移し、コンシューマ&コンテンツ事業は前年同期比約3.3倍の増収
- ◆ 「KarteConnect」や「スマはっちゅう」などの特定業種向けDXサービスや、「(株)Wellmira」への先行投資によりセグメント全体ではマイナス

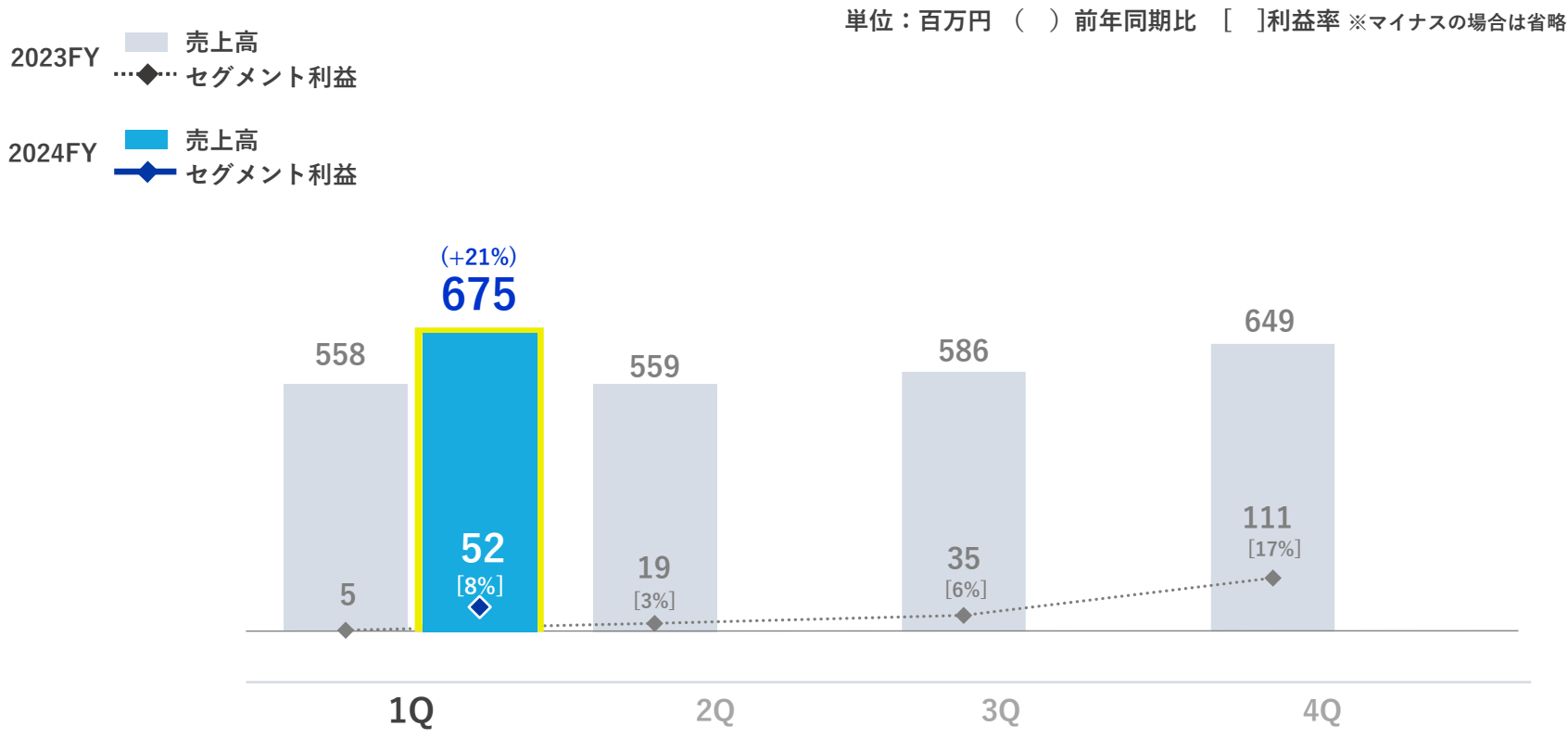
単位：百万円 () 前年同期比 []利益率 ※マイナスの場合は省略



※2023FY4Q (1~2月) は、M&Aにより吸収した新会社にヘルスケア事業は移動したため連結業績から除外

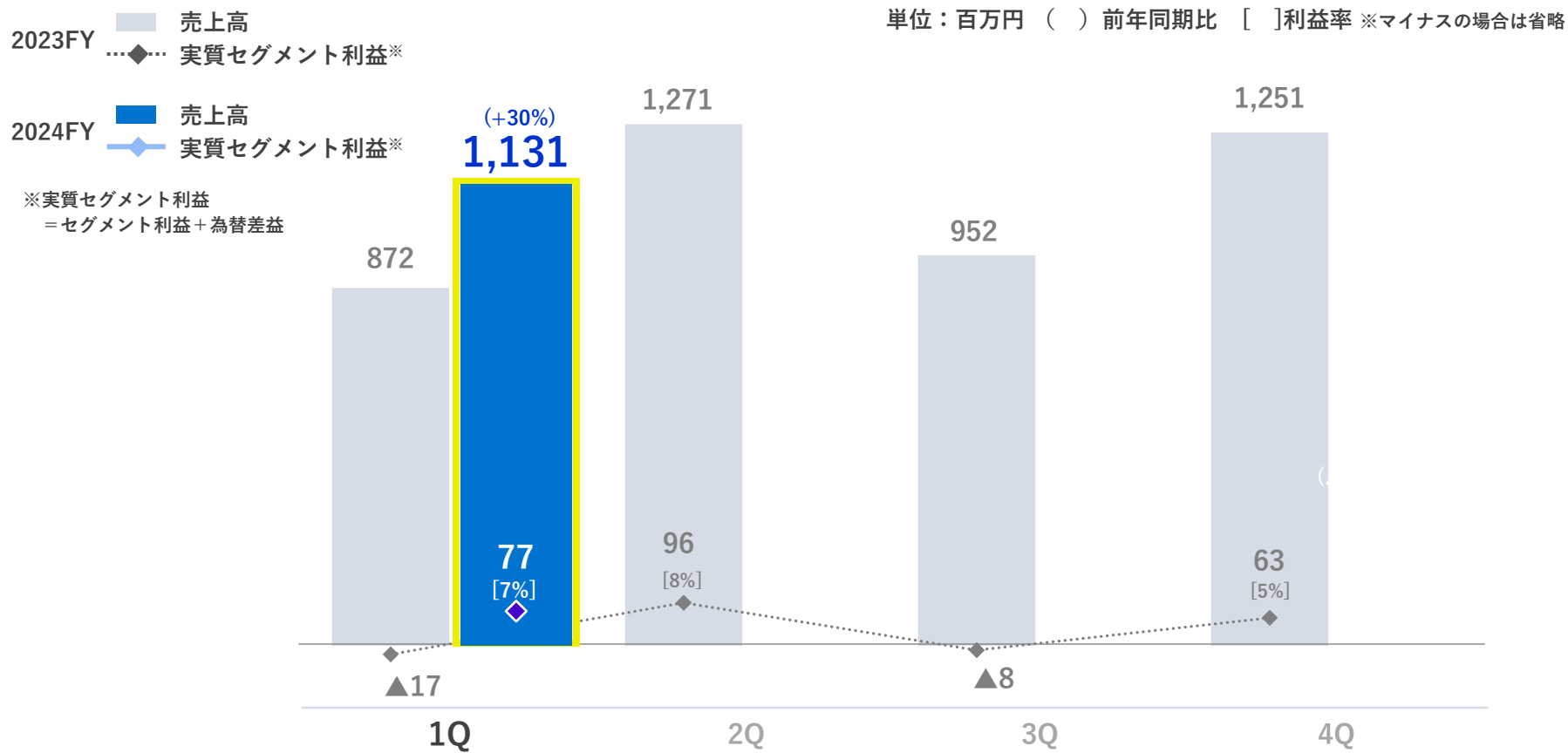
2024年度 1Q業績サマリー

- ◆ AIチャットボットはMicrosoft Azure AI searchなど先端技術の取り込みによる品質向上を引き続き推進し、増収基調を継続
- ◆ ソリューションはAIプロダクト営業との連携によるソリューション営業が功を奏し収益性の高いDX関連を中心に堅調に推移、全体として前年同期比で増収増益



2024年度 1Q業績サマリー

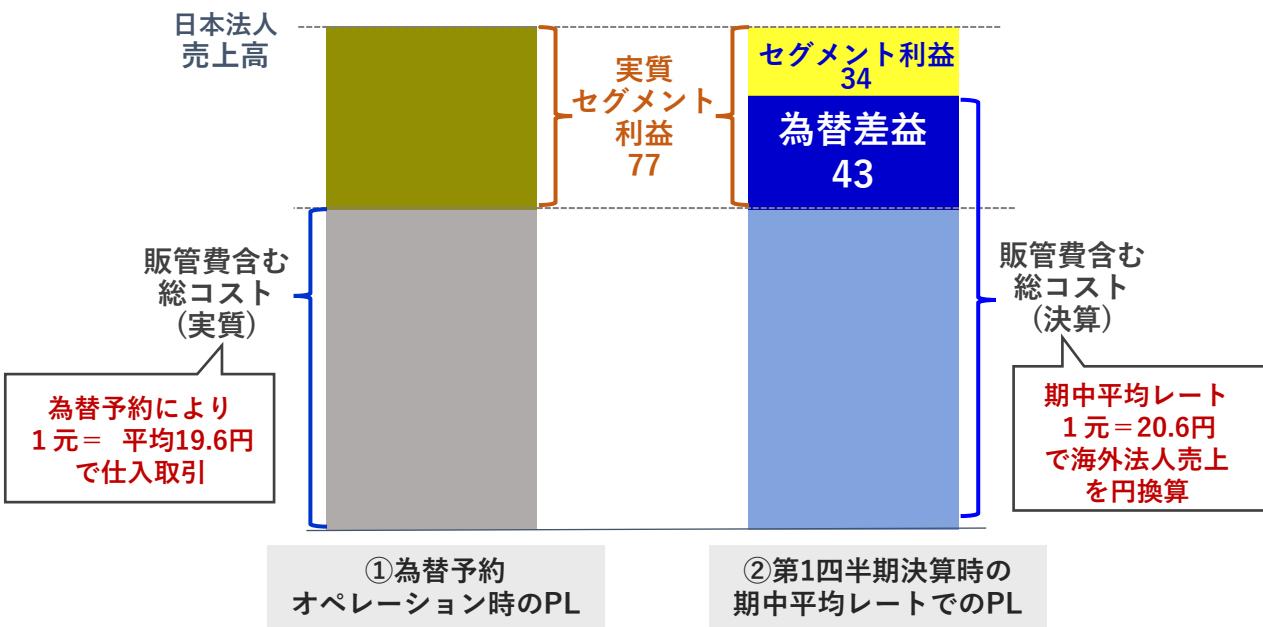
- ◆ 自社製品aiwa事業はラインアップの拡充やマーケティング強化等により順調に拡大、前年同期比約2.6倍の増収
- ◆ 中国工場におけるサプライチェーンの見直し、内部工程や品質管理の向上に注力した結果、継続製造製品等の生産通過率が向上し収益性が大きく改善



- ◆ 日常オペレーションにおいて、日本法人が海外子会社からデバイスを仕入れる際に為替予約（1元＝19.6円）によって仕入額を確定した上で実現した利益を「実質セグメント利益」として算出
- ◆ 海外子会社を連結する際の同社の出荷高を期中平均レート（1元＝20.6円）で算出、日本法人が仕入れた際の予約レート（1元＝19.6円）との差分を、為替差益として計上

2024FY 1Q

為替予約レートより円安元高となり為替差益が発生



- ① 日本/深圳の実際の取引は、案件毎に為替予約を行い、円建て仕入額を確定
< 2024FY 1Q：1元＝19.6円で予約取引 >
- ② 連結決算時に期中平均レートで海外法人売上高を円換算
< 2024FY 1Q：1元＝20.6円で換算 >

上記①②の元レートの差1.0円がIoT&デバイス事業に関わる為替差益として2024FY1Qでは43百万円発生

資産の部

- ・売上債権の回収による売掛金の減少、現預金の増加
- ・減価償却による無形固定資産の減少

負債の部

- ・契約負債(前受金)の増加
- ・借入金の返済や賞与引当金の減少

純資産の部

- ・配当金の支払い等による純資産の減少

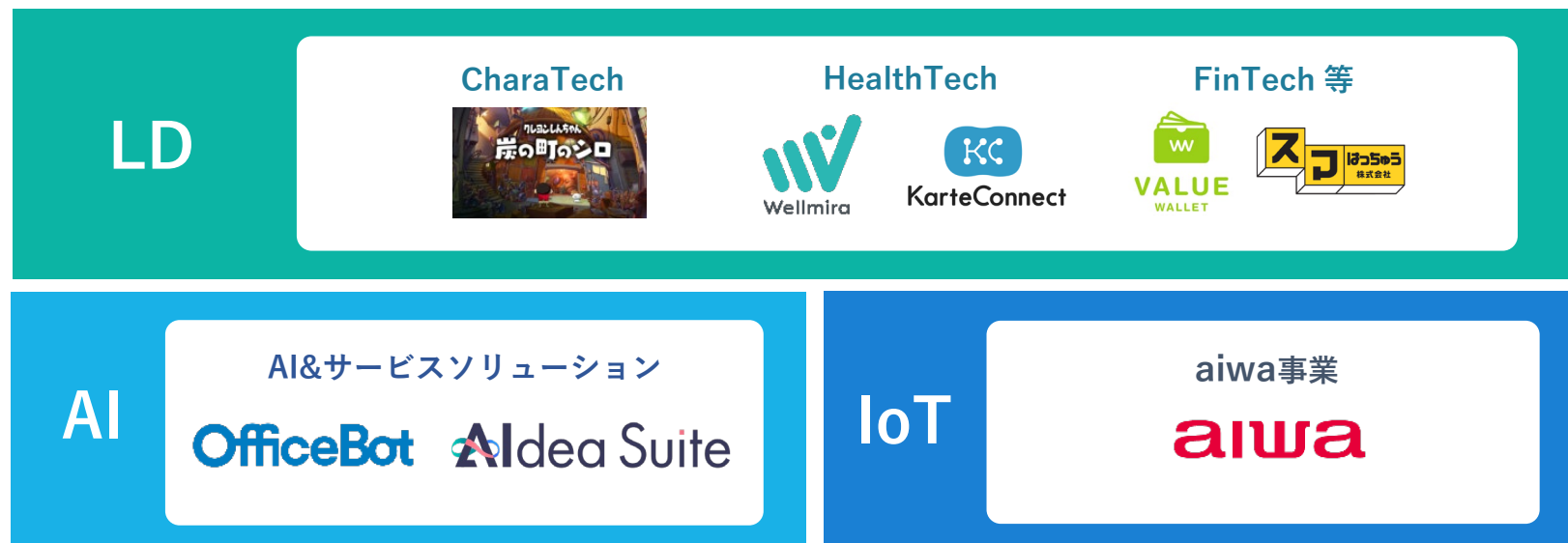
単位：百万円	前年度末(24/2)	当期末(25/5)	増減		前年度末(24/2)	当期末(25/5)	増減
流動資産	6,099	6,079	▲20	流動負債	1,939	2,019	+80
現金及び預金	2,662	3,259	+597	契約負債	147	465	+318
受取手形、売掛金及び 契約資産	1,790	1,282	▲508	短期借入金・1年内 返済予定の長期借入金	612	604	▲8
前渡金	348	405	+57	その他	1,180	950	▲230
棚卸資産	720	736	+16	固定負債	1,827	1,688	▲139
その他	579	397	▲182	負債合計	3,767	3,707	▲60
固定資産	4,011	3,907	▲104	株主資本(自己株式除く)	6,086	5,998	▲88
有形固定資産	243	256	+13	その他の包括利益累計額	186	206	+20
無形固定資産	2,196	2,056	▲140	新株予約権・非支配株主持分	70	74	+4
(内、のれん)	(1,214)	(1,183)	▲31	純資産合計	6,343	6,279	▲64
投資その他の資産	1,572	1,593	+21	負債・純資産合計	10,110	9,986	▲124
資産合計	10,110	9,986	▲124	自己資本比率	62.0%	62.1%	+0.1p



II .2025年2月期 業績見通し

23.10発表「新中期計画」に沿って
新たな事業構造へのシフト × 増収増益を実現

新たな事業構造 = 自社事業拡大による収益性向上



増収 売上高 **100億円超**

増益 調整後EBITDA※ **10億円超**、EBITDAマージン **10%超**
 経常利益 **3億円**、ROE **3%超**

※営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費を含む）及び為替差損益の合計額

IoTセグメントで上期利益予想を超過するも、全社予想については期首予想を維持

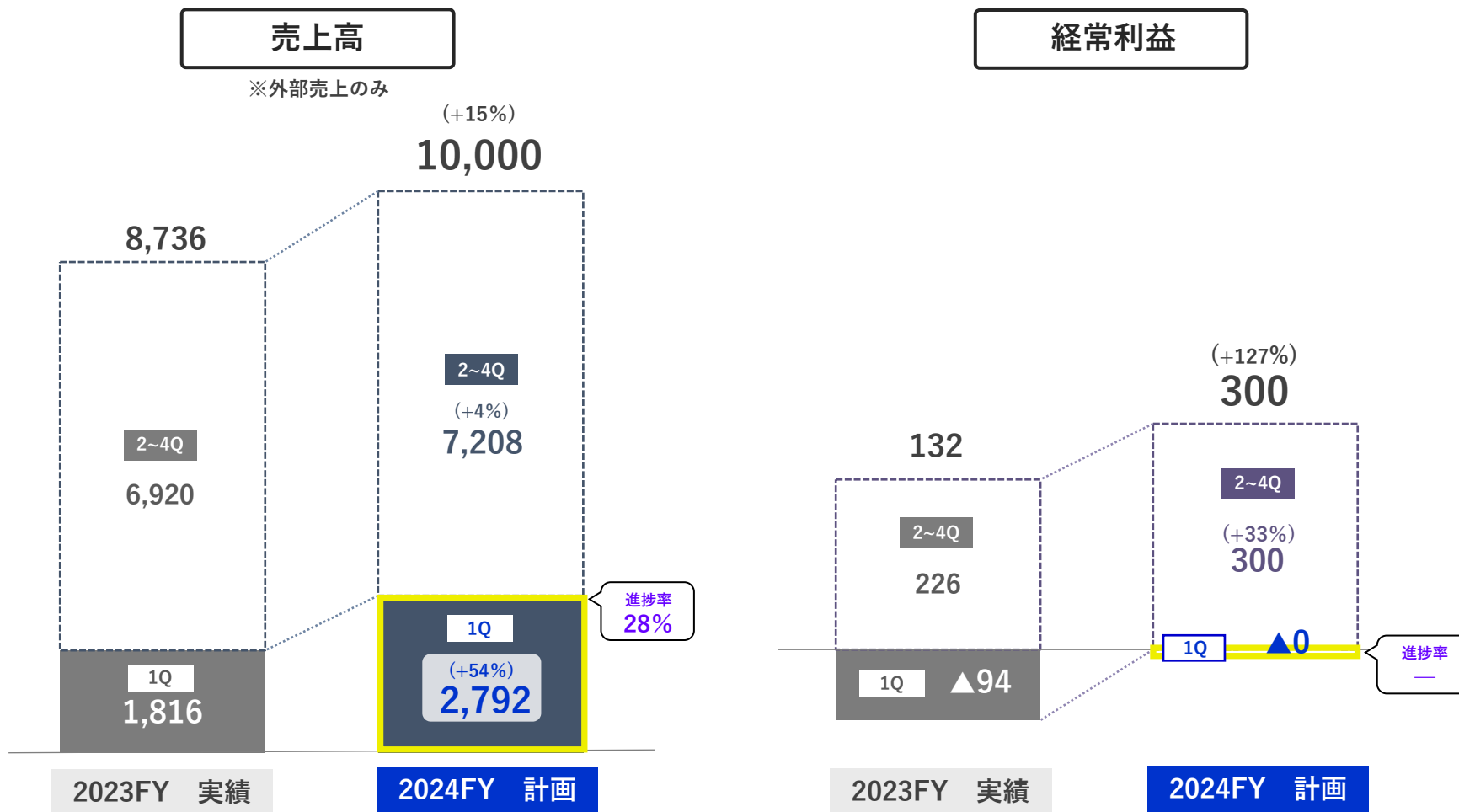
単位：百万円		2024FY 予想					
		1Q	上期進捗率	年間進捗率	1H	2H	年間
売上高 (前年同期比：%)		2,792 (+54%)	61%	28%	4,600 (+11%)	5,400 (+17%)	10,000 (+15%)
調整後EBITDA※1 (EBITDAマージン：%)		256 (9%)	95%	26%	270 (6%)	730 (14%)	1,000 (10%)
セグメント 利益	LD	▲17	53%	—	▲34	227	193
	AI	52	42%	16%	125	199	324
	IoT※2	77	260%	45%	30	143	173
	計	112	93%	16%	121	569	690
全社費用等		▲113	56%	29%	▲201	▲189	▲390
経常利益 (利益率：%)		▲0 (-)	—	—	▲80 (-)	380 (7%)	300 (3%)
親会社株主に帰属する純利益 (利益率：%)		▲30 (-)	60%	—	▲50 (-)	250 (5%)	200 (2%)
ROE※3		▲0.5%	—	—	▲0.8%	+3.9%	3.1%

※1 営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費を含む）及び為替差損益の合計額 ※2 実質セグメント利益 = セグメント利益 + 為替差益

※3 ROEは、該当する会計期間の親会社に帰属する当期純利益の額を、当該会計期間の期首および期末の株主資本平均残高で除して計算

売上高の年間進捗率は28%と堅調、経常利益については2Q以降の9ヶ月間で前年同期比33%増を計画

単位：百万円 ()内は前年同期比



ライフデザイン事業

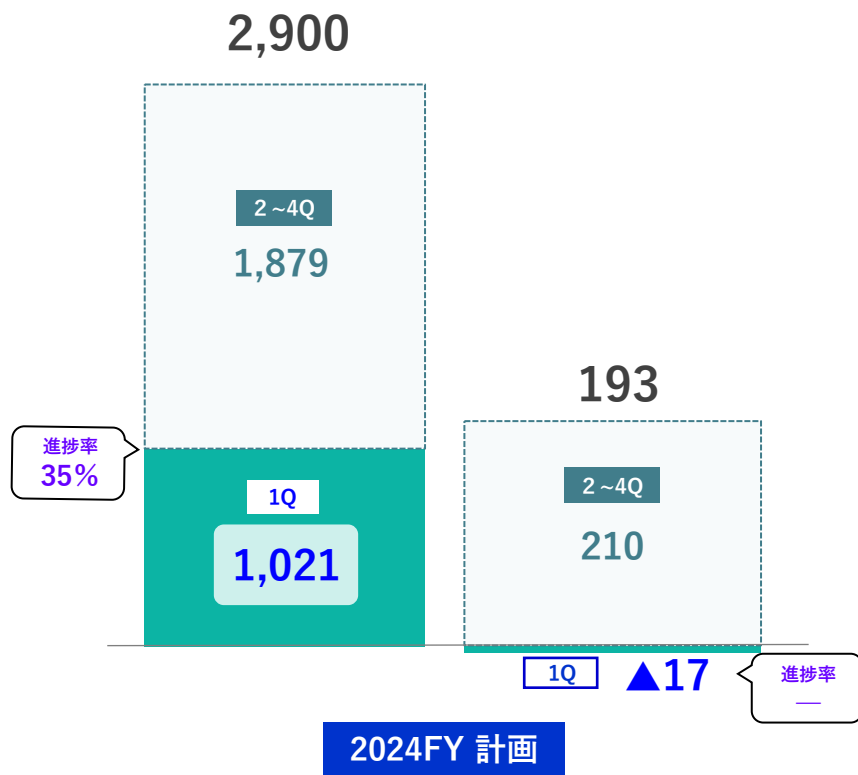
2Q以降見通し

単位：百万円

売上高

※外部売上のみ

セグメント利益



新作ゲームの海外展開を加速

Nintendo Switch 「クレヨンしんちゃん『炭の町のシロ』」のアジア地域における拡販に加え、世界展開を推進

BtoBサービス事業の収益化

- ・ (株)Wellmiraにおけるウェルネスサービスの売上拡大と収益改善
- ・ 医療・介護向けDX「KarteConnect」や酒販向けトランザクションサービス、小売り向けプリペイド決済など、特定業種向けDXサービスの販売拡大を継続

AI&クラウド事業

単位：百万円

売上高

※外部売上のみ

セグメント利益

2,500

2~4Q

1,851

進捗率
26%

1Q

649

324

2~4Q

272

進捗率
16%

1Q

52

2024FY 計画

2Q以降見通し

チャットボット事業の拡大継続

最新技術の導入継続とマーケティング強化により引き続きAIチャットボット「OfficeBot」の売上高を拡大、今期における収益化を実現

ソリューションにおける付加価値向上

AIソリューション「Aldea Suite」を活かした展開など、先端技術やDX分野におけるソリューション展開を継続

IoT & デバイス事業

単位：百万円

売上高

※外部売上のみ

実質セグメント利益

=セグメント利益+為替差益

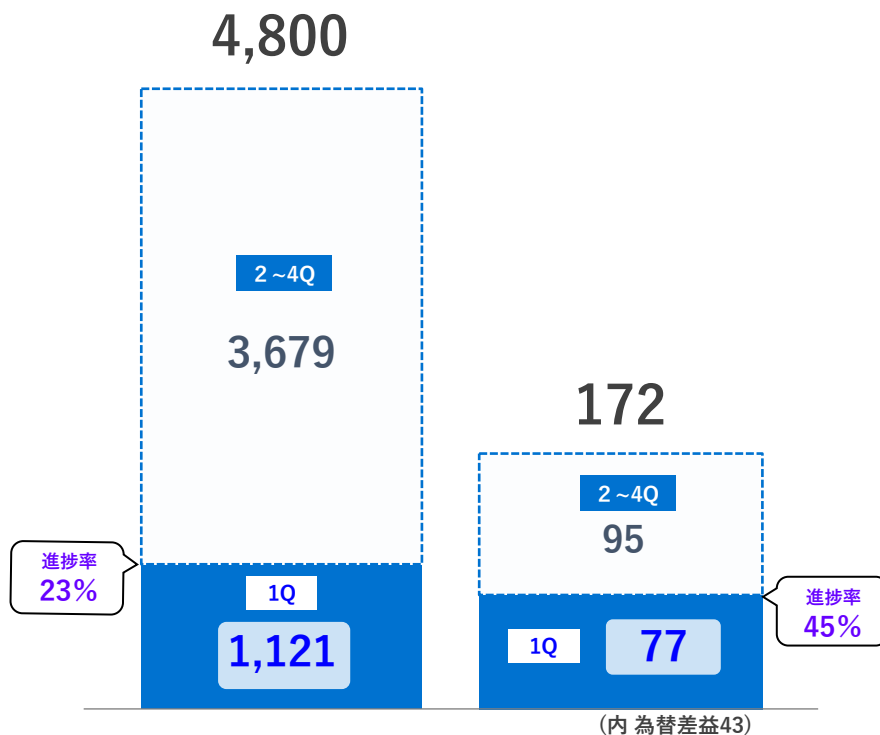
2Q以降見通し

自社製品aiwa事業のさらなる拡大

新製品の投入によるラインアップや製品領域の拡大を引き続き推進、好調なタブレットを中心にさらなる売上高拡大を推進

ODM事業の収益性維持・強化

DX化の進展に伴い拡大するIoT需要を取り込み受注拡大に傾注、原価低減を継続し収益を拡大



2024FY 計画



III. Appendix

所在地	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
連結従業員数 (2024年2月末現在)	529名 (国内322名・海外207名)
設立	2004年4月
上場 (証券コード：3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更 2023年10月 東証再編に伴いスタンダード市場へ移行
資本金 (2024年5月末現在)	2,411,175千円 発行済株式数 12,478,200株
連結子会社	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 スタジオプラスコ株式会社 Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) 創紀精工(東莞)有限公司 (中国) スマはっちゅう株式会社 アイワマーケティングジャパン株式会社 株式会社Wellmira
決算期	2月

TechnologyとCreativeで未来を創る

コンテンツ・ソフトウェア・ハードウェアの多分野に亘る技術と知見、それらを支える人材を強みに
Service領域とTech領域の二軸でDXを深耕

Service領域

Tech領域

CharaTech



AIチャットボット
OfficeBot

ソリューション
Aldea Suite
aws partner network

aiwa



HealthTech



ライフデザイン

デジタルテクノロジーにより
生活を便利で豊かにする
サービスやソリューションを提供

EdTech



FinTech



AI&クラウド

先進技術を駆使したSaaSや
Techソリューションで
企業のDXやビジネスを支援

POCKETALK
シリーズ



IoT&デバイス

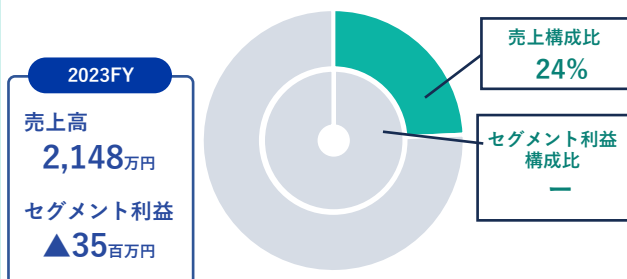
コネクテッドデバイスなど
モノとインターネットの融合による
新たな価値を創造

各種IoTデバイス



デジタルコンテンツからAI/IoTまで デジタル化による付加価値創出を追求

ライフデザイン事業



Business Domain

コンシューマ&コンテンツ

- Nintendo Switch等のゲームやキャラクターコンテンツ
- 知育・教育等のキッズアプリ
- 教育系コンテンツ等

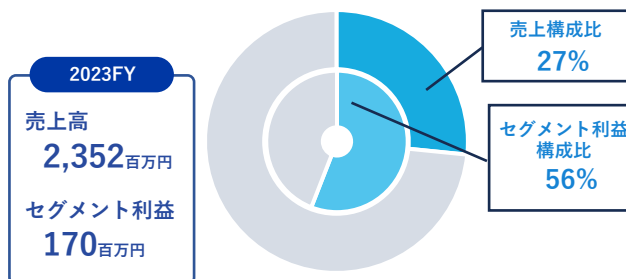
ウェルネス (株式会社Wellmira)

- 健康経営支援サービス「RenoBody」
- AI健康アドバイスアプリ「カロママプラス」
- ヘルスケアサービス等

特定業種向けDXサービス

- プリペイド決済サービス「ValueWallet」
- 酒販業界向けDX「スマはっちゅう」
- 医療介護向けDX「KarteConnect」

AI&クラウド事業



Business Domain

SaaS

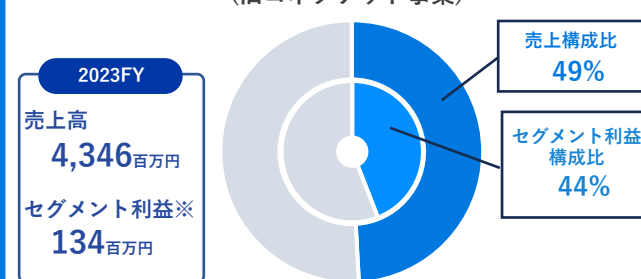
- AIチャットボットサービス「OfficeBot」
- クラウドアドレス帳サービス「SMARTアドレス帳」

ソリューション

- AIソリューション[Aldea Suite]
- Azure、AWS、Salesforce、Kintone等のクラウド導入、運用支援スクラッチ開発
- その他スクラッチ開発等

IoT&デバイス事業

(旧コネクテッド事業)



Business Domain

ODM

- 通信デバイスの開発・製造・保守・カスタマーサポート
- デバイスに対応したアプリやプラットフォームの開発

自社プロダクト

- 自社ブランド「aiwa」製品シリーズ

※実質セグメント利益 (セグメント利益+為替差益)

知育・教育／健康／FinTech／キャラクター利用等の分野において デジタルテクノロジーを活用したライフデザインサービスとソリューションを提供

事業の歩み

- ガラケー時代の創業当初、通信キャリアや端末メーカー向けにコンテンツ制作、サービス開発から組み込みソフトまで幅広く対応
- スマホ転換期、通信キャリアのビジネスモデル変容により、コンテンツ力やサービス力を活かした自社ビジネスへのシフトとそのノウハウを基にしたソリューションに転換



キャラクター版権元との強固な
パートナーシップや知育・教育DXの
知見を活かしたコンテンツを提供



ヘルスケアやメディカル領域における
サービスノウハウを活かした
法人向けサービスを展開



ソリューション事業で培った業界知識を
活かして決済・医療/介護・酒販卸など
各業種向けのDXサービスを展開



コンシューマ&コンテンツ

クリエイティブ力やキャラクターIPを活かした
多彩なコンテンツを世界中に展開



キャラクターコンテンツ



キッズアプリ



教育コンテンツ開発

ウェルネス(株式会社Wellmira)

健康経営や健康事業を支援する
BtoBサービスを展開



健康経営支援サービス



AI健康アドバイスアプリ



ヘルスケアサービス開発

特定業種向けDXサービス

特定の業種に特化した
BtoBサービスおよびソリューションを展開



プリペイド決済サービス



酒販向けDXサービス



医療・介護向けDXプラットフォーム

AIチャットボット及びクラウドアドレス帳サービスなどのSaaSやAWS等を活用したTechソリューションを提供

事業の歩み

- 通信キャリア向けのサービスやシステム開発に始まり、ITの進展とともに一般法人においてもクラウドなどの技術を活用した業務システムやサービス開発を支援
- AIやクラウドなど先進技術における研究開発を積極的に推進
これを応用したチャットボットや法人向けアドレス帳などの自社サービスをいち早く提供開始

アプリ、クラウドやAI等の自社開発技術に加え
生成AIなど新しく登場した技術を活用し
自社SaaSを構築・展開



SaaS

独自開発の技術やサービスノウハウを活かし
組織内の業務を最適化するSaaSを提供

OfficeBot
AIチャットボット

SMART アドレス帳
クラウドアドレス帳

SaaSと併せて、顧客固有の
ニーズに応じた最先端の実用テクノロジーを用いた
ソリューションを展開



ソリューション

自然言語処理やクラウドなどの
豊富な知見・開発力により
ビジネスのイノベーションや企業DXを支援

Aldea Suite

aws partner network

通信デバイスの開発・製造や、デバイス活用におけるプラットフォーム・アプリケーション開発を通じてモノとインターネットを融合した価値を提供

事業の歩み

- JENESISが保有する2拠点の中国工場と宮崎カスタマーサポート拠点により海外コスト×日本品質を実現するODM事業を確立
- ODMで培ったノウハウを活かし、法人向けのICTデバイスを中心とした自社製品事業も並行して展開



設計から試作・量産・保守・カスタマーサポートまで
一気通貫による独自の事業体制
さらにネオスとの連携によりデバイスのみならず
アプリからシステム開発まで対応



ODM

製造実績500機種以上
製品種別を問わず、ソフトウェア領域までカバーした
幅広いODMサービスを展開



みてねみまもりGPS



「POCKETALK」シリーズ



法人向けICT製品

国内メーカーとしての基盤確立に向けて
オーディオブランド“aiwa”の商標使用権を取得
デジタルの付加価値を備えた新生「aiwa」として展開



aiwa

自社プロダクト

国内ブランドの安心感と
JENESISならではのコストパフォーマンスを
兼ね備えた多彩な製品を販売



スマートフォン/タブレット



スマートウォッチ



電子楽器

発行済み株式総数 12,472,200株
(+132,700)

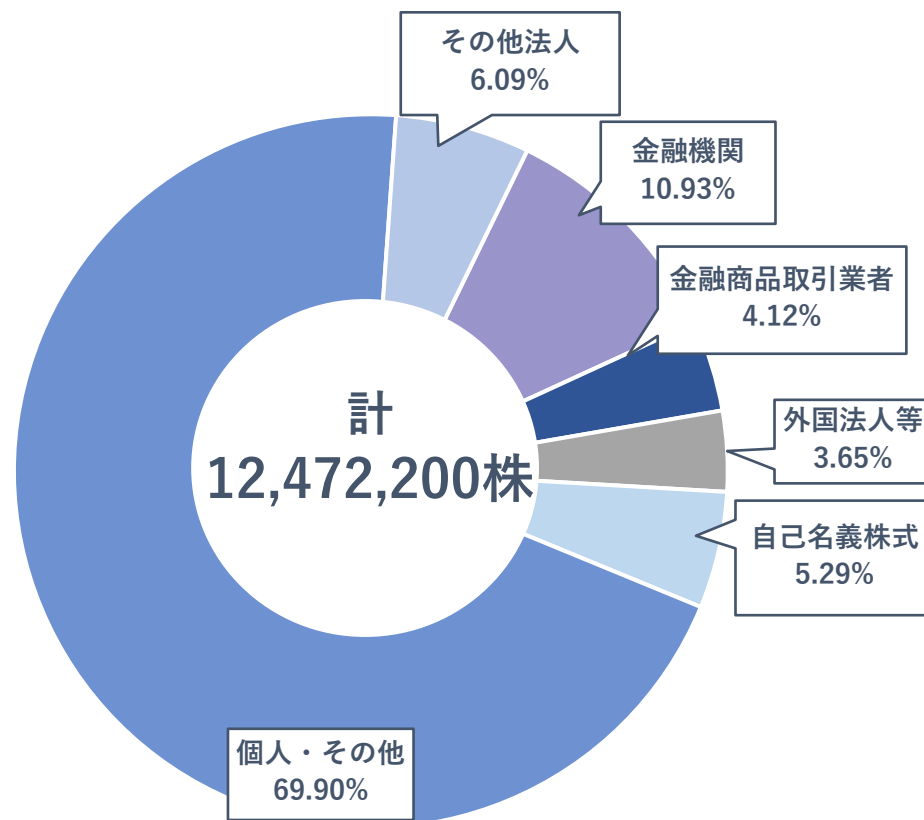
株主数 7,408名
(▲98)

※()内は対前年度末

大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	15.89
太陽生命保険株式会社	570,000	4.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	423,000	3.58
藤岡 淳一	370,600	3.13
シャープ株式会社	360,000	3.04
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	218,600	1.85
井川 等	215,200	1.82
SOCIETE GENERALE PARIS/BT REGISTRATION MARC/ORT	184,000	1.53
上田八木短資株式会社	153,000	1.29
日本証券金融株式会社	133,500	1.13

株式所有者別分布



※ 持株比率は自己株式数(660,105株)を控除して計算しております。

TechnologyとCreativeで 未来を創る

テクミラグループは「Technology」と「Creative」をもって
社会を彩るミラクルな未来を創造してまいります

IR メールニュース
ご登録はこちら <https://www.tecmira.com/ir/mailnews/>

当社IRに関する最新情報をタイムリーにお届け致します



シェアードリサーチ社による
当社の調査レポートはこちら



<https://sharedresearch.jp/ja/companies/3627>

